

地方自治体の資金調達・運用等に関する研修会を実施しました

平成24年8月24日（金）、県および市町の資金借入れ担当職員を対象に、自治体の資金調達・運用および地方債の金利をテーマとする研修会を開催しました。

概要は次のとおりです。

記

- 1 日 時 平成24年8月24日（金） 13：30～15：30
- 2 場 所 県庁地下1階 正庁
- 3 講 師 地方公共団体金融機構
自治体ファイナンス・アドバイザー 堀内聡氏
- 4 テーマ 自治体の資金調達・運用について
～地方債の金利の見方を中心に～
- 5 参加者 県・市町の資金借入れ担当職員 40名
- 6 その他 今回の研修会は、地方公共団体金融機構（地方公共団体に対し公的資金の貸付を行う機関で、旧公営企業金融公庫）が、地方支援業務の一環として実施している「出前講座」を活用して実施しました。
- 7 主な講座内容
 - 資金調達について、金利が妥当かどうか評価することが必要。
 - 金利を計算し、スプレッド（利回り差）を分析することにより、妥当かどうか判断できる。
 - 一般会計、企業会計、外郭団体との間で資金過不足を融通し合うグループファイナンスも、資金の効率的運用に資すると考えられる。

